

1. 近い将来起こりうる人口減少に立ち向かう策は

現在、日本全体は人口減少社会に突入している。人口減少は、「静かなる危機」と呼ばれるように、日々の生活においては実感しづらいと言える。

しかし、減少し始めると地域経済の低下、更なる人口減少のスパイラルが起き、地域のコミュニティや自治体の行財政運営にも大きな影響を与える。今は人口増加中の本町においても政策を誤れば早期の人口減少が起き始めると考える。

また、近隣市町は本町とは対照的に急激な人口減少が起き始めている。現在の状況に満足せずに本町でも起こりうる将来的な人口減少に立ち向かう対策が必要と考える。

第五次開成町総合計画で将来指標とする令和6年度での19,300人に対して、平成31年4月1日現在で17,843人となっているが、残り5年、将来指標まで1,457人となっている。

小田急線開成駅が急行停車駅となり更に町に勢いも出ると思うが、第五次総合計画で将来指標とした令和6年度の数値を達成するための具体策をどのように考えられているのか。

- ① 第五次開成町総合計画で将来指標とした令和6年度19,300人に向けての定住人口増加策は。
- ② 人口増加に大きな影響を及ぼす駅前整備の核である駅前通り線の早期の開通に向けての現在の進捗状況は。